



炭素社会の実現に向けて②

ecoな買い物編

問 環境政策課 (☎025-520-5689)

私たちが購入する商品は、生産・運搬・使用・廃棄の過程で多くの資源やエネルギーを消費することから、日頃の買い物や消費の仕方を見直すことで、エネルギーの削減や地球温暖化の防止につながります。

今回は、環境にやさしい買い物の取り組み事例やそのポイントを紹介します。

地元の旬のものを選ぶ

新鮮でおいしい地元の食材を選ぶことは、輸送にかかる燃料の削減につながります。



必要な分だけ購入し、食品ロスを減らそう

食べ残しだけでなく、廃棄に使うエネルギーも“もったいない”。必要な分をおいしいうちに食べることで、食品ロスの削減と廃棄にかかるエネルギーの抑制につながります。



宅配便は一回で受け取ろう

日時指定や宅配ボックス、コンビニ受け取り、置き配などを活用することで、再配達を減らすことができ、配送時の燃料使用の削減にもつながります。



環境に配慮した製品を選ぶ

商品についている環境マークに注目してみましょう。選ぶだけで、手軽に「環境にやさしい買い物」につながります。



エコマーク

環境への負荷が少ない商品に付けられる目印



JGAP

安全安心な農産物の認証マーク

このほかにも、さまざまな環境ラベルがあります。できることから、「環境にやさしい買い物」を始めてみませんか？

詳しくは



歴史博物館
特別展

「楊洲周延—サムライ、浮世絵を描く—」作品解説②

問 歴史博物館 (☎025-524-3120)

10月12日⑨・⑩まで、今年度寄贈いただいた高田藩士の浮世絵師・楊洲周延の作品約150点を、前期・後期で入れ替えて展示する特別展を開催しています。

今号では、後期展の展示作品の中から学芸員イチオシの作品を紹介します。ぜひ博物館で実物もご覧ください。



楊洲周延作「春遊 貴顕之令嬢」明治20（1887）年【後期展示】

本作は、梅が咲く屋敷の縁側や庭でまりつきや羽根つきをする少女たちの姿を描いています。色彩豊かで細かな着物の柄にも注目のこの作品、実は類似した構図の肉筆画「御殿女中遊戯之図」（榊原家所蔵、公益財団法人旧高田藩和親会管理）が存在します。9月5日④からはじまる後期展では特別に2つの作品を並べて展示しますので、構図や少女たちの着物の色など、類似点や違いを見比べてみてください。